

# 21・老福連 第21回職員研究交流集会in福島

## 開催要綱



ここで生きていく  
～いのちと暮らしを支える福祉の力～

主催：21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会

京都市北区大北山長谷町5-36 TEL：075-465-5300/FAX：075-465-5301

後援：福島県、公益社団法人認知症のひとと家族の会福島県支部

福島市在宅医療・介護連携支援センター、福島市介護支援専門員連絡協議会

お問合せ先：特別養護老人ホーム 原谷こぶしの里

京都市北区大北山長谷町5-36

TEL:075-463-4888 / FAX:075-464-8415

## ●ごあいさつ

実行委員長 酒井 美香

(社会福祉法人くわの福祉会 特別養護老人ホームおおつき施設長)

### 全国の老人福祉施設関係者のみなさん

私たち「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」(略称:21・老福連)は、実践交流と連携をめざした老人福祉の連絡組織として2001年に発足しました。

発足にあたって、

- ①介護保険導入の混乱と矛盾から高齢者を守る立場で、公的福祉の確立をめざすとともに、真の高齢者福祉、介護保険のあり方について実践を含めた意見交換を活発に行う。
- ②高齢者主体の援助実践、ケアの質、暮らしの内容を豊かにするため、「職員研究交流集会」を開催する。
- ③老人福祉の向上をめざす活動、社会保障を守る活動などを諸団体と共同、連携し積極的に進める。

これらを目標に掲げ毎年「実践・交流・連携」を重ねてきました。

この度、第21回職員研究交流集会を東北・福島にて開催することになりました。東日本大震災から12年が経過し、被災地がどのような状況にあるのか、現状をお伝えしながら社会保障や介護保険制度について本音で語り合い、今後の豊かな援助実践につなげていきたいと考えています。

「ここで生きていく～いのちと暮らしを支える福祉の力～」をテーマに一緒に学び、交流を深めましょう。全国各地からの積極的なご参加をお待ちしております。

## ● テーマ

ここで生きていく ～いのちと暮らしを支える福祉の力～

## ● 目的

私たち、21・老福連が主催する「職員研究交流集会」は、「豊かな援助実践と公的福祉制度の確立」をめざし、全国の介護現場で高齢者に向き合い、尊厳ある人生への支援を多様に行い、優れた援助実践を持ち寄り、交流し、全国に発信する広場となっています。

公的福祉制度から2000年に介護保険制度に変わり23年経過しようとしている中で、あらためて高齢者福祉について考え、大切にしたい私たちの仕事、高齢者への援助実践を学び合い、高齢者福祉の仕事のやりがいや働きがいを語り合い、学び合い明日への英知を養いましょう。

## ● 開催日

2023年12月1日(金)・2日(土)・3日(日)

## ● 会場等

1日目フィールドワーク 福島県いわき市・双葉地域

2日目全体会 ①オンライン(通信環境・会場は各自でご用意ください)

②フィールドワーク参加者、会場担当実行委員は  
ホテルハマツ(郡山市虎丸町3番18号)

3日目分科会 ①オンライン(通信環境・会場は各自でご用意ください)

②特別養護老人ホームおおつき内通信環境提供会場  
(希望申込先着順10名まで 郡山市大槻町字西勝ノ木5-1)

## ● 参加費

8,000円

## ● 申込方法

締切り:10月31日(火)

本要綱の後半ページ「お申込みのご案内」をご確認の上、お申し込みください。

## ● プログラム

### ● 1日目

12月1日(金) 原発被害地フィールドワーク いわき市・双葉地域

09:00~10:30	郡山駅集合・チャーターバスにていわき方面へ出発
10:30~12:00	フィールドワーク
12:00~13:00	昼食休憩
13:00~17:00	フィールドワーク
17:00~19:00	浪江I.C~郡山駅到着・解散

### ● 2日目

12月2日(土) 全体会

09:00~09:10	オープニング
09:10~09:20	開会挨拶:実行委員長 くわの福祉会 特別養護老人ホームおおつき施設長 酒井 美香
09:20~09:50	基調報告 21・老福連事務局長 井上 ひろみ氏
09:50~10:40	紙芝居と語り 講師:浪江まち物語つたえ隊 岡 洋子氏
10:40~10:50	小休憩
10:50~12:20	記念講演 講師:株式会社彩葉 代表取締役 大井 千加子氏
12:20~13:20	休憩
13:20~15:10	特別企画 「原発被害地のいま」 報告者:フィールドワーク参加者 講師:浜通り医療生活協同組合 組織部 組織主任 工藤 史雄氏
15:10~15:20	事務連絡

### ● 3日目

12月3日(日) 分科会

08:30~09:00	オンラインルーム入室
09:00~12:00	分科会
12:00~13:00	休憩
13:00~15:00	分科会
15:00~15:25	分科会まとめ
15:25~15:30	閉会式

### ● 紙芝居と語り

一話:「浪江町消防団物語『無念』」 二話:「おふくろ」

浪江まち物語つたえ隊 岡 洋子氏



東日本大震災・原発事故により故郷の浪江町から福島市に避難された岡氏は、浪江町のために何かしたい思いから「浪江まち物語つたえ隊」に参加し、東日本大震災・原発事故の体験や故郷への思いを伝える活動を行っています。避難指示解除後は自宅を解体しましたが、倉庫をリフォームして昔話や震災の話共有する集いの場を作りました。岡氏の活動の目的は、薄れていく記憶を記録し、後世に残すことです。震災の実話をもとにした紙芝居から二つの作品を紹介し、現在の暮らしと心境について語っていただきます。

### ● 記念講演

東日本大震災後の福島で暮らす。私たちができること。

株式会社彩葉 代表取締役 大井 千加子氏



福島県南相馬市出身で、震災発生当時は介護施設で介護長として働いていた経験を持ちます。震災前は4世代の大家族で兼業農家、定年退職後は孫守と農業をする夢を見ていましたが、2011年3月11日に被災。その後、2017年に株式会社彩葉を創設し、原発から20km圏内で介護事業を開始しました。利用者様の生きる力を地域と共につくりたいという思いを持ち、講演では東日本大震災の現状や避難生活、再開した施設や地域の現実、新たな事業への決心と課題、今ここに必要な「支え」とは何か、そして命や家族を守るなどについて話させていただきます。

### ● 特別企画

原発被害地のいま

浜通り医療生活協同組合 組織部 組織主任 工藤 史雄氏 ・ フィールドワーク参加者



震災直後から福島原発事故被害を発信し、ノーモア・フクシマイわき市民訴訟の原告団事務局としても活動されてきました。1日目は、震災の爪痕がまだ鮮明に残る地域を訪れ、自分の目で見て感じるためのフィールドワーク・原発被害地視察バスツアーでガイドをしていただきます。2日目は、現地視察に参加できない方々にも、原発被害の実態と12年経過後の現状を率直に語っていただきます。また、フィールドワークへ参加者した方々からも報告いただき、高齢者福祉の視点からも、問題や課題について学びあう企画とします。

## ● 分科会・分散会一覧

### A その人らしい暮らしを支える

分散会	テーマ
1 豊かな生活を支える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○その人らしい暮らしを支えることを中心に、支援のあり方を考えます。</li> <li>○介護と医療の連携、看取りケア、個別ケア、認知症ケアなどの取り組みなど。</li> <li>○食に関する利用者の希望、食形態、提供方法、食事ケア、多職種連携などの取り組みなど。</li> <li>○介護保険制度の2024年度改定を目前にした備え、利用者や事業者への影響と課題など。</li> <li>○介護保険制度が歩んできた道と、これから歩もうとしている道に感じる事。</li> <li>○政策要求などの取り組みの報告など。</li> </ul>
2 安心安全な生活のために	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者が安心して、安全に暮らせる支援のあり方を考えます。</li> <li>○介護事故の防止や減少に向けた取り組み、不安や苦痛を与えないケアの実践、介護事故防止のための体制づくり、抑制廃止の取り組みなど。</li> <li>○センサー等ICT機器の具体的活用や問題意識、課題の共有。</li> <li>○利用者の尊厳保持や権利擁護に配慮したケアの取り組みなど。</li> </ul>
3 ケアハウス、有料老人ホーム、養護老人ホーム等多様な住まいの役割と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現状の課題共有や老人福祉法をどう考えるかなど。</li> </ul>

### B 在宅・ちいさでの暮らしを支える

テーマ
<ul style="list-style-type: none"> <li>○在宅生活を支える様々な事業の今日的な課題と役割、地域づくりについて考えます。</li> <li>○医療ニーズの高い利用者への対応、様々な生活課題への支援の実践報告や課題の共有。</li> <li>○高齢者が安心して暮らし続けられる地域づくりや地域に開かれた施設の取り組み、地域や行政との連携など。</li> <li>○介護保険制度の2024年度改定を目前にした備え、利用者や事業者への影響と課題など。</li> <li>○介護保険制度が歩んできた道と、これから歩もうとしている道に感じる事。</li> <li>○政策要求などの取り組みの報告など。</li> </ul>

### C 社会福祉法人運営を考える

分散会	テーマ
1 育ちあい育てあう職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員が共に育ちあい、育てあえる教育制度や職場づくりの取り組みなど。</li> <li>○働きがいある職場、働き続けられる職場づくりの取り組みなど。</li> <li>○社会福祉法人として求める職員像、育成の取り組みや課題共有。</li> </ul>
2 社会福祉法人の民主的な運営をめざして	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職場づくりや事業運営の中で取り組んでいる民主的な取り組みなど。</li> <li>○中間管理職の立場での運営上の悩みや課題の共有。</li> <li>○利用者や家族会による施設運営への関わり。</li> <li>○施設の経営改善・処遇改善の取り組み・職員との情報共有。</li> </ul>

### D 災害や感染症等への対応を考える

テーマ
<ul style="list-style-type: none"> <li>○感染症の対策、災害支援の取り組みなどの実践報告。</li> <li>○求められるBCP作成の進捗状況や訓練の工夫、悩みや課題の共有。</li> <li>○災害時における地域との協力連携の仕組みづくり。</li> <li>○被災地復興への政策要求などの取り組みの報告など。</li> </ul>

## ● 分科会演題募集要項

職員研究交流集会の分科会には例年多くのレポートが提出され有意義な実践交流が図られます。日々豊かな実践を積み重ねている皆さんの報告を全国の仲間と分かち合いませんか。分科会・分散会一覧を参照のうえ、発表をご検討ください。たくさんの演題の応募をお待ちしています。



### ● 演題募集エントリー

- ・発表いただける方は、「演題募集エントリー」用紙を21・老福連ホームページ 第21回職員研究交流集会開催要綱のページからダウンロードし、必要事項をご記入の上、9月30日(土)までに下記の「エントリー用紙提出先」へE-mailでお送り下さい。
- ・共同研究(発表)を行う場合は、代表者のみ1名を下記<発表者名>に記入の上、<発表内容>に共同研究と明記して下さい。共同研究者の氏名記載は、発表原稿本文へお願いいたします。なお、集会当日に共同研究者とともに参加・発表を希望する場合は、参加申込用紙の備考欄に必ずその旨を記載して下さい。
- ・希望分科会を記載する際は、分散会番号も忘れずにご記入下さい。(例:A-2やC-1など)エントリー受付後、分科会によって演題数の大幅な差異が生じた場合、実行委員会で演題数の調整を行います。希望する分科会から別の分科会へ移っていただくこともございますのであらかじめご承知おき下さい。

ふりがな 施設名			施設種別	
施設住所	〒	TEL ( )		
		FAX ( )		
		E-mail @		
ふりがな 発表者氏名			職種	
発表希望分科会 ( - ) 分散会番号も忘れずに	演題			
発表内容 (簡潔に)				

○演題募集エントリー期間

8月1日(火)～9月30日(土)

○エントリー用紙提出先

E-mailにて下記までお送り下さい。  
宮城厚生福祉会(担当:佐々木)  
E-mail: 21kouryushukai@kou-fuku.or.jp

## ●抄録・発表原稿の提出

配布資料に掲載する原稿を下記のとおりご提出くださるよう、お願いします。

### ○発表原稿様式

※ 演題抄録用紙(A4用紙1枚)にまとめてください。《 厳守 》

### 【原稿作成時】

ソフトはWORDを使用。演題抄録用紙は21・老福連ホームページ 第21回職員研究交流集会開催要綱のページからダウンロードし、使用してください。

※ レポートの末尾に、発表者施設の連絡先(問い合わせ先)を記入してください。

○WORDファイル名:【[分散会No.][県名][施設名][氏名]】(例)A-2 宮城 宮城野の里 松島 太郎

### 【原稿送信時】

下記の「原稿提出先」へ、E-mailにWORDファイルを添付して送信して下さい。その際、件名にはWORDファイル名同様、【[分科会No.][県名][施設名][氏名]】を明記して下さい。

### 【その他】

発表方法は資料集に掲載されたレジュメ等に基づいてお願いします。発表にあたって、利用者等の個人情報の取扱いについては、事業所の個人情報保護規定に従い、適正な対応をお願いいたします。研究交流集会に参加できない方々とも実践交流を図る趣旨で、研究・実践報告(発表)された内容を「ゆたかなくらし」誌の21・老福連のページに掲載することもございますのでご承知おき下さい。

### ○発表時間

1演題につき10～20分程度(各分科会の演題数によって異なるため目安)

### ○原稿提出期間

10月1日(日)～10月31日(火)

### ○原稿提出先

E-mailにてWORDファイルを添付の上、下記へお送りください。

宮城厚生福祉会(担当:佐々木)

E-mail:21kouryushukai@kou-fuku.or.jp

### ○演題抄録作成にあたっての留意点

- ① 人権・プライバシー等、倫理的配慮について必ず記載してください。
- ② 演題名も対象者個人の特定につながる記述は避けてください。
- ③ 報告の【提出理由】ー【内容】ー【結果】ー【考察】ー【まとめ】または【おわりに】など一貫性を意識して述べてください。各項目は【 】で囲んでください。
- ④ 文章は「である」調で統一してください。
- ⑤ 制限文字数は1300字です。フォントはHGPゴシックM、サイズは10.5ポイントで記載してください。A4サイズ1枚で収まるようお願いします。

## ● パワーポイントデータの提出

### ○ データの事前提出について

あらかじめ、発表データを下記の「データ提出先」に送付いただくこととします。提出はメールにてお願いいたします。なお、提出の際にはパワーポイントのバージョンを必ずご明記下さい。パワーポイント以外のソフトを使用する際にも必ずソフト名をご明記下さい。

また作成の際には、MS明朝、MSゴシック等Windows付属の標準フォントで、写真等を用いる場合は、Windowsアクセサリのペイント等で表示される実寸サイズにあらかじめ小さくしたものをご使用いただきますようお願いいたします。

### ○ 発表について

発表時は、分科会にて各自で使用するパソコンのデスクトップにパワーポイントのファイルをコピーしておき、操作は各自で責任を持って行って下さい。予めの動作確認なども各自でお願いします。

トラブルのないように努めますが、基本的には各自で対応していただく事となります。ご不明な点がございましたら、下記にご連絡をお願いいたします。

### ○ データ提出期間

10月1日(日)～11月15日(水)

### ○ データ提出先

E-mailにてパワーポイントデータを添付の上、下記へお送りください。

宮城厚生福祉会(担当:佐々木)

E-mail: 21kouryushukai@kou-fuku.or.jp

演題募集エントリー・抄録原稿・パワーポイントデータの  
提出に関する問い合わせ先

現地実行委員会担当 宮城厚生福祉会(担当:佐々木)

TEL 022-388-9968 FAX 022-388-9969

E-mail: 21kouryushukai@kou-fuku.or.jp

～各期日を守ってご提出下さい～  
運営にご協力をお願いします(。)

## ●お申込みのご案内

### ●職員研究交流集会参加の申し込みについて

参加申込書に必要事項を全てご記入のうえ、10月31日(火)までに下記の提出先へE-mailにてお申込みください。参加申込書は21・老福連ホームページ 第21回職員研究交流集会 開催要綱のページからダウンロードし、使用してください。メール以外での申し込みはお取り扱いできませんのでご注意ください。

現地実行委員会担当 宮城厚生福祉会(担当:佐々木)  
E-mail: 21kouryushukai@kou-fuku.or.jp

### ○申し込み期間

10月1日(日)～10月31日(火)

### ○参加費

8,000円(参加日数に関わらず一律の参加費となります。)

### ○フィールドワーク

- ① 参加者は12月1日(金)午前9時に郡山駅へ集合、チャーターバスに搭乗してフィールドワークへ向かいます。
- ② 参加者定員は30名です。申し込みは先着順で受け付けますが、定員を超えた場合、以下の条件を考慮して優先順位を調整します。ご了承ください。
  - ・現地会場全体会への参加も同時に申し込まれた希望者を優先します。
  - ・同一法人から多数の申し込みがあり参加人数に大きな偏りが生じる場合、できるだけ異なる法人の方の参加が可能となるように調整します。
- ③ 参加者の方々には2日目の全体会会場から報告等を行っていただく予定ですので、現地会場全体会へ参加することを前提にお申込みください。会場は郡山駅近郊のホテルハマツを予定しています。
- ④ 宿泊施設は斡旋いたしませんので、宿泊される方は各自でご予約ください。

### ○1日目フィールドワークでの昼食のご案内

檜葉町内にある天神岬スポーツ公園のレストランで昼食休憩を取ります。団体予約で食事を手配しますので、ご希望の方は、参加申込書にご記入ください。食事の内容はレストランへのお任せとなります。(税込み1,500円)

### ○2日目全体会での昼食弁当のご案内

2日目全体会へホテルハマツで参加する方に、お弁当を手配いたします。ご希望の方は、参加申込書にご記入ください。(税込み1,000円)

### ○分科会用WiFi提供会場のご案内

- ① 分科会参加者用に特別養護老人ホームおおつき内へWiFiを使用できる会場を用意いたします。ご希望の方は送迎の希望の有無と併せて、参加申込書にご記入ください。
- ② 定員は10名です。先着順で受け付けますので、あらかじめご承知おきください。
- ③ WiFi機能が搭載されたパソコン等機器は各自でご用意ください。
- ④ 希望者には、おおつきにて郡山駅との間の送迎車を手配します。
  - ・迎え: 郡山駅西口ロータリー(ヨドバシカメラ前)へ7時40分集合、宿泊者がいる場合はホテルハマツ(現地全体会会場)も経由
  - ・送り: おおつきを15時50分に出発し、17時までには郡山駅へ到着

### ○手話通訳のご案内

全体会や分科会において手話通訳をご希望する方は、参加申込書にご記入ください。

### ○オンライン参加方法

- ① オンライン環境や注意点をまとめた運営マニュアルはメールで送付しますが、早めに参加方法をご確認いただけるよう、21・老福連ホームページ 第21回職員研究交流集会 開催要綱のページからもダウンロードできるようにします。
- ② 参加申込書に記載いただいたメールアドレスへ、11月22日(水)までに運営マニュアル、オンラインミーティングzoomのURL、ミーティングIDとパスコードを送付します。
- ③ 当日は時間までに入室いただきますようお願いいたします。

### ○備考

- ① 受付後、参加確認書及び請求書を11月初旬以降に発送いたします。
- ② お支払いは郵送した請求書をご確認の上、2023年11月30日(木)までに指定の口座へお振込みください。振込手数料は参加者(事業所)負担とさせていただきます。
- ③ 参加費等を振込後の変更・取消についてはご返金いたしませんので、予めご了承ください。

## お問い合わせ先

11月29日まで 七野会 特別養護老人ホーム原谷こぶしの里  
担当: 介山 TEL: 075-463-4888 / FAX: 075-464-8415  
E-mail: kobushi@nananokai.com

11月30日から 宮城厚生福祉会  
担当: 佐々木 TEL: 022-388-9968 / FAX: 022-388-9969  
E-mail: 21kouryushukai@kou-fuku.or.jp

# 第21回 21・老福連 職員研究交流集会在福島 参加申込書

県名	県	施設名	
住所	〒	担当者	電話 FAX

No	名前	フリガナ	職名	参加費			12月3日 (日)	12/1 (金)	12/2 (土)	12/3 (日)	web	※web参加の場合 zoomミーティング登録用 メールアドレス	12/1 (金)	12/2 (土)	12/3 (日)	併当 12/2 (土)	分科会12/3(日) 昼食・お昼・研修の方は 後席の順にご記入ください。			手話通訳 の希望	備考		
				12月1日 (金)	12月2日 (土)	12月3日 (日)											第1 希望	第2 希望	会場希望			送迎希望	依頼
例	仙台 太郎	センダイ タロウ	施設長	現地	現地	現地	現地	現地	現地	現地	現地	現地	現地	現地	現地	現地	現地	現地	現地	現地	現地	現地	
1																							
2																							
3																							
4																							
5																							
6																							
7																							
8																							
9																							
10																							

お申込金額計算欄	参加費計	昼食代計	併当代計	総合計
円	円	円	円	円

<注意事項> ※10名以上の場合はコピーをしてお使いください。

※12月3日分科会へ参加の場合は、一人1台のPCにて参加申し込みをお願いします。全体会のみ参加の場合は、複数名1台での参加も可とします。

申込締切：10月31日（火）